



○ 草の根パートナー型

平成25年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	サモア
2. 事業名	初等理数科教育における問題解決型授業の展開
3. 事業の背景と必要性	当該国では国家開発計画において、教育質の向上は重要課題の一つとして位置づけられており、特に初等理数科の、質の高い教育が求められている。そのため、カリキュラムの改善等様々な取組みが行われているが、小学校教員の教授法技術を向上させるような取組み、研修は充分とはいえない。したがって、理数科における教員の教授力を引き上げ、質の高い授業を構築するための方策として、問題解決型授業の展開をパイロット校3校にまずは集中して実施する。
4. プロジェクト目標	パイロット校及び周辺小学校の理数科教育において、問題解決型授業が展開される。
5. 対象地域	ウポル州ヴァイマウア行政区およびサバイ州スイスフォ行政区
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	パイロット校3校における教員及びその周辺小学校教員
7. 期待される成果及び活動	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. P校理数科教員が、積極的に自ら学習指導案を作成し、研究授業（検討会を含む）を行うようになる。 2. 公開型授業研究会に参加した周辺地域の教員が、自分達で教材開発を行うようになる。 3. 日本人専門家（短期・長期）により、問題解決型授業指導マニュアル及び算数・理科副読本が作成され、P校及びその周辺校、JOCV隊員等に配付し活用される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本人長期専門家（算数、理科）が、パイロット校において学習指導案づくりを教員に指導する。 2. 日本人短期専門家（算数、理科）が、公開型の授業研究会をP校で開催し、周辺校教員を招へいし、授業で効果的な教材開発を指導する。 3. 短期・長期専門家が中心となり、問題解決型指導マニュアルを策定する。
8. 実施期間	2014年4月～2017年3月（3年）
9. 事業費概算額	48,018千円
10. 事業の実施体制	北海道教育大学が知識・技術を提供し、サモア教育・文化・スポーツ省がカウンターパートとなり事業を実施する。当該カウンターパートとは、北海道教育大学で研修経験のある現職教員で、パイロット校の校長も含まれている。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人 北海道教育大学
2. 活動内容	教師をはじめ地域と文化のための優れた人材を養成することを目的として、教育研究活動を実施。地域と国際社会への貢献を推進する。